

新冠町立

特別養護老人ホーム恵寿荘等

改築基本構想

令和7年11月

# 目次

---

第 1 章 基本構想策定に当たって .....	2
1-1 策定の背景と目的 .....	2
1-2 関連計画等 .....	3
第 2 章 現状と課題 .....	4
2-1 現状 .....	4
2-1-1 本町の現状 .....	4
2-1-2 施設の概要 .....	5
2-1-3 施設の敷地状況 .....	7
2-2 課題 .....	8
2-2-1 現施設のハード面における課題 .....	8
2-2-2 ソフト面における現状と課題 .....	9
第 3 章 基本理念及び基本方針 .....	11
3-1 恵寿荘の基本理念及び基本方針 .....	11
3-2 基本構想における施設のあり方 .....	11
3-2-1 安心安全な施設 .....	11
3-2-2 人や環境にやさしい施設 .....	11
3-2-3 持続可能な施設運営 .....	11
第 4 章 施設整備計画の方向性 .....	12
4-1 新しい施設建設の必要性 .....	12
4-2 恵寿荘のあり方について .....	12
4-3 デイサービスセンターのあり方について .....	12
4-4 改築候補地の検討 .....	13
4-5 基本計画の検討 .....	13
4-6 整備スケジュール .....	13

# 第1章 基本構想策定に当たって

---

## 1-1 策定の背景と目的

新冠町立特別養護老人ホーム恵寿荘(以下「恵寿荘」という。)は、昭和58年に定員50床で開設し、介護が必要となった町民が安心して暮らせる「終の棲家」として運営してまいりました。高齢化社会の進展とともに介護ニーズが高まり、平成7年に通所介護事業の新冠町デイサービスセンターを併設して設置、平成12年には短期入所(ショートステイ)10床を併設して設置し、同年スタートした介護保険制度に基づく、地域の高齢者福祉の一役を担ってきました。

その間、隣接する新冠町立国民健康保険病院が平成21年に病床を縮小し、有床診療所に移行した際、空き病床を活用し20床を増床、合計70床で運営していましたが、令和5年に町内の民間特養の増床により20床を閉鎖、現在50床で運営しております。

これまで、恵寿荘は新冠町立国民健康保険診療所(以下「国保診療所」という。)の医療体制に支えられ、厨房機能なども共有して運営してまいりましたが、日高徳洲会病院が当町へ移転決定したことにより、国保診療所の閉所方針が示されたことにより、今後の施設のあり方について抜本的に見直す必要があり、この度恵寿荘及びデイサービスセンターの改築基本構想(以下「基本構想」という。)を策定致しました。

近年、急速に進む人口減少や少子高齢化が大きく影響し、地方においてはあらゆる分野において深刻な人材不足に直面していますが、介護業界においても人材不足は喫緊の課題となっています。当町も今後の介護人材の確保、働きやすい環境の確保が求められます。そして何より利用者の方の尊厳が保持され、安心して生活ができることが最も重要です。老朽化、狭隘化した施設の改善、日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震への対応など、解決すべき課題は山積していることから、現在の施設の利用状況や老朽化を整理するとともに、将来の人口推計等から適切な規模と運営方針の方向性を定め、今後の改築基本計画の策定検討を進めてまいります。

## 1-2 関連計画等

本基本構想は、他の関連計画と連携・調整を図りながら進めて行くこととします。

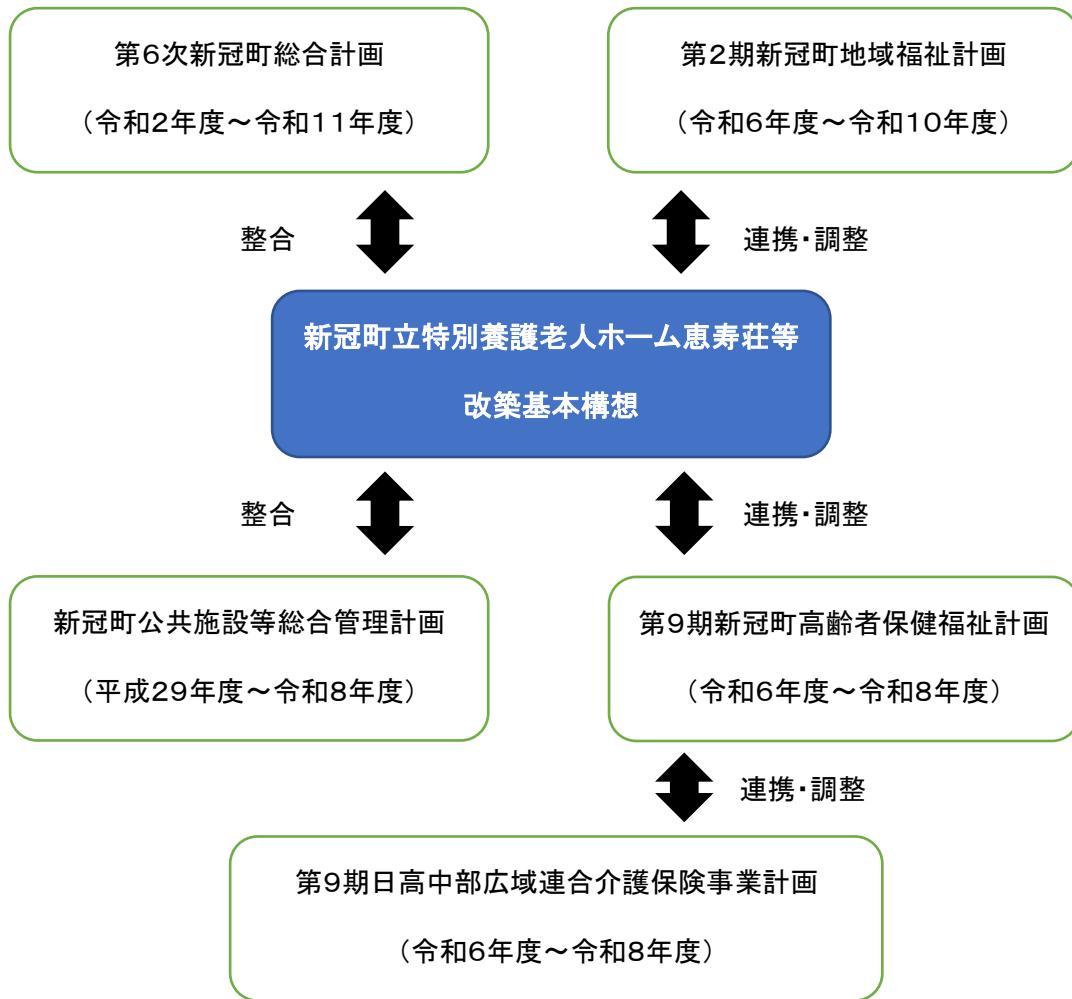


図 1-1 計画の位置づけ

## 第2章 現状と課題

### 2-1 現状

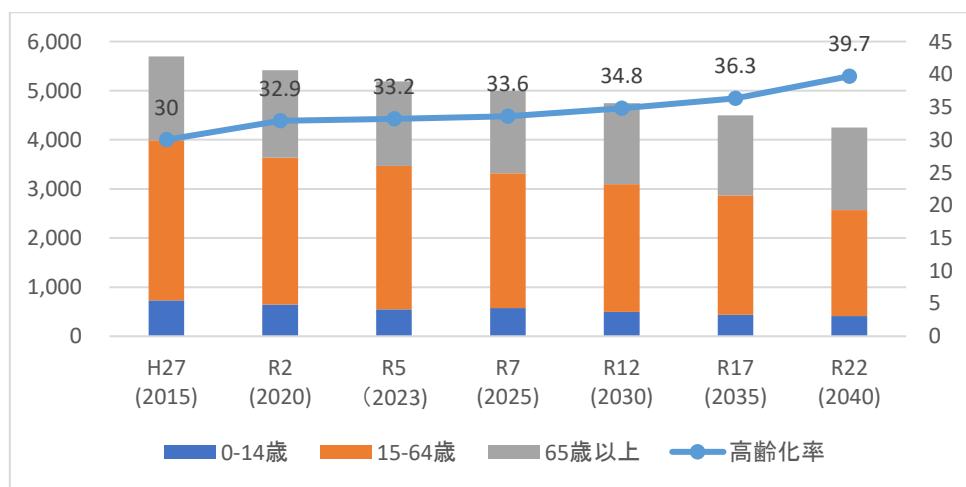
#### 2-1-1 本町の現状

新冠町の総人口は、昭和55年以降緩やかな減少傾向にあり、令和5年3月31日時点では、5,189人となっています。65歳以上の人口は、これまで一貫して増加傾向にありました。令和2年頃をピークに現在は減少傾向に転じています。国立社会保障・人口問題研究所公表の推計値によると、今後は75歳以上の「後期高齢者」が大幅に増えていくことが見込まれます。当町の75歳以上の高齢者における要介護3以上(特別養護老人ホーム入所対象)の認定率は、約10%であることから、入所対象者は今後若干増加することが予想されます。また、総人口に占める高齢者の割合(高齢化率)は伸びており、団塊ジュニア世代が65歳以上となる令和22(2040)年には39.7%となる見込みです。

##### (1)高齢者人口の推移と将来推計

	H27 (2015)	R2 (2020)	R5 (2023)	R7 (2025)	R12 (2030)	R17 (2035)	R22 (2040)
総人口	5,698	5,417	5,189	4,993	4,747	4,500	4,251
0-14歳	729	646	551	572	496	440	412
15-64歳	3,258	2,991	2,915	2,745	2,599	2,428	2,153
65歳以上	1,711	1,780	1,723	1,676	1,652	1,632	1,686
65-74歳	744	837	795	707	604	593	676
75歳以上	967	943	928	969	1,048	1,039	1,010

表2-1、図2-1 高齢者人口の推移



## 2-1-2 施設の概要

対象施設である恵寿荘及びデイサービスセンターは、新冠町の市街地に位置しており、海岸から約 500m、国道 235 号線、新冠小学校、日高中部消防組合新冠支署に隣接しています。

至 日高町



至 新ひだか町

位置：新冠郡新冠町字中央町5-36, -37, -27の内, -28の内

図 2-2 位置図

恵寿荘は短期入所生活介護(ショートステイ)を併設して、特養部門と一体で運営しています。

デイサービスセンターは恵寿荘と渡り廊下で接続しており、入浴施設を共用しています。運営は社会福祉法人新冠ほくと園を指定管理者として指定しています。

現在、特養、短期入所、デイサービスに加え、国保診療所の入院患者に向けた給食を診療所厨房で共同調理しています。

表 2-2 施設概要

	恵寿荘	短期入所	デイサービスセンター
事業開始日	昭和 58 年 4 月 1 日	平成 12 年 4 月 1 日	平成 7 年 4 月 1 日
施設種別	指定介護老人福祉施設	指定短期入所生活介護	地域密着型通所介護
定員	50 名	10 名	18 名
延床面積	1,548.57 m <sup>2</sup>	298.19 m <sup>2</sup>	285.42 m <sup>2</sup>
居室形態	多床室 2 人部屋 3 室 4 人部屋 11 室	従来型個室 8 室 多床室 2 人部屋 1 室	
運営形態	直営	直営	指定管理

表 2-3 沿革

昭和 58 年 4 月	特別養護老人ホーム恵寿荘開設 定員 50 名
平成 7 年 4 月	新冠町立デイサービスセンター開設 定員 16 名
平成 12 年 4 月	短期入所生活介護(ショートステイ)開設 定員 10 名
平成 19 年 4 月	デイサービスセンターを町内社会福祉法人へ業務委託
平成 21 年 4 月	デイサービスセンターの指定管理者制度を導入 社会福祉法人新冠ほくと園を指定管理者として指定
平成 21 年 5 月	恵寿荘、国保診療所の 2 階に 20 床増床 定員 70 名
令和元年 8 月	デイサービスセンターの定員を 18 名に変更
令和 5 年 4 月	恵寿荘、国保診療所の 2 階 20 床を削減 定員 50 名

### 2-1-3 施設の敷地状況

恵寿荘及びデイサービスセンターの延べ床面積合計は 2,132.18 m<sup>2</sup>、敷地面積は約 3,700 m<sup>2</sup>で、駐車スペースは手狭で職員駐車場は保健センター横の空き地を利用しています。



図 2-3 既設周辺図



図 2-4 外観写真

## 2-2 課題

### 2-2-1 現施設のハード面における課題

#### 老朽化と狭隘化

- ・経年劣化が著しく、特に屋上防水機能の低下による雨漏りや給水配管、給湯配管の破損による漏水が頻繁に起きている。
- ・居室や共用スペースが狭隘化し、プライバシーの確保や感染症対策の面で支障がある。
- ・共用設備とデイサービスセンターとの動線が長く、利用者や職員に負担が生じている。

居室の入所者 1 人当たりの面積は、8.36 m<sup>2</sup>となっており、現在の国の基準や北海道の条例が定める 1 人当たりの床面積 10.65 m<sup>2</sup>を満たしていません。

表 2-4 恵寿荘施設床面積表

用途	面積	合計面積	1 人当たり床面積
居室	418.00 m <sup>2</sup>	418.00 m <sup>2</sup>	8.36 m <sup>2</sup>
居室以外	ホール兼食堂	130.80 m <sup>2</sup>	22.61 m <sup>2</sup>
	特殊浴室	30.00 m <sup>2</sup>	
	一般浴室	30.00 m <sup>2</sup>	
	脱衣室	22.75 m <sup>2</sup>	
	ボイラー室	44.00 m <sup>2</sup>	
	その他諸室	144.55 m <sup>2</sup>	
	廊下	310.47 m <sup>2</sup>	
延べ床面積		1,548.57 m <sup>2</sup>	30.97 m <sup>2</sup>

#### 防災対応

- ・津波浸水想定区域及び洪水浸水想定区域に立地している。
- ・津波災害時の避難先を国保診療所2階としている。
- ・非常用電源が設置されていない。

## 2-2-2 ソフト面における現状と課題

- ・要介護度が高く、90歳以上の入所者が半数以上占め高年齢化している。
- ・入所待機者が減少傾向にある。
- ・現在職員数は充足しているが、今後人材確保が困難と予想される。
- ・町一般会計からの繰り入れが増加している。

### (1)入所者の状況(令和7年4月1日現在)

表 2-5 要介護度別入所者数

	介護度 1	介護度 2	介護度 3	介護度 4	介護度 5	計
男	0	1	2	2	1	6
女	0	0	14	12	17	43
計	0	1	16	14	18	49

表 2-6 男女年齢別入所者数

	~65	65~ 69	70~ 74	75~ 79	80~ 84	85~ 89	90~ 94	95~ 99	100~	計
男	0	1	1	1	1	0	1	1	0	6
女	0	0	1	4	5	7	11	11	4	43
計	0	1	2	5	6	7	12	12	4	49

表 2-7 出身地別入所者数

新冠町	新ひだか町	日高町	苫小牧市	札幌市
28	17	2	1	1

### (2)入所待機者の状況

表 2-8 入所申請数及び待機者数(令和7年4月1日現在)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
待機者数	102	115	104	95	72
申請数	53	40	34	38	49

(3)職員配置

表 2-9 専門職の職員数(令和 7 年 4 月 1 日現在)

恵寿荘		デイサービスセンター	
介護職員	18	管理者	1
介護職員(パート)	3	生活相談員	1
看護職員	4	介護職員	2
管理栄養士	1	介護職員(パート)	4
生活相談員	1	看護職員(パート)	2
介護支援専門員	1	運転業務員(パート)	2
計	28	計	12

※恵寿荘は施設長、事務職等を除く。

(4)運営状況

表 2-10 年度別決算状況(単位:千円)

	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
歳入	378,400	353,881	299,658	298,914	313,696
歳出	354,937	347,825	294,207	290,330	301,369
人件費 (歳出の内数)	219,859	215,812	190,208	191,589	202,024
一般会計繰入金 (歳入の内数)	81,841	71,362	71,829	81,996	79,923

表 2-11 年度別稼働率(単位: %)

	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
入所	92.1	83.6	69.5	92.7	97.2
短期入所	64.1	73.1	69.0	58.4	63.4
デイサービス	65.2	75.2	78.0	75.5	79.8

※入所は令和 4 年度まで定員 70 名、令和 5 年 4 月 1 日より定員 50 名

## 第3章 基本理念及び基本方針

---

### 3-1 恵寿荘の基本理念及び基本方針

基本理念 利用者の尊厳保持

- 基本方針
- ・利用者の声を聞き、利用者の目線で支援します。
  - ・利用者の特徴に合わせた介護を行います。
  - ・人と人とのつながりを大切にします。
  - ・専門知識と技術の向上に努めます。

### 3-2 基本構想における施設のあり方

#### 3-2-1 安心安全な施設

- ・利用者がいきいきと安心して生活できる施設を目指します。
- ・地震や風水害などでも運営が継続できる災害に強い施設を目指します。
- ・災害時要援護者福祉避難所の機能を備えた施設を目指します。
- ・感染症対策を備えた施設とします。
- ・プライバシーに配慮した施設とします。

#### 3-2-2 人や環境にやさしい施設

- ・緑に囲まれた環境に調和した施設とします。
- ・地球温暖化対策を推進するため、環境負荷を低減した施設とします。
- ・誰にでも分かりやすいユニバーサルデザインを導入します。
- ・機能的な施設配置と効率的な業務動線を確保し、職員が安心して働ける施設とします。
- ・ICT機器の導入により利用者の安全と職員の負担軽減を図ります。

#### 3-2-3 持続可能な施設運営

- ・将来の社会情勢、ニーズの変化に対応可能な構造の施設を検討します。
- ・民間事業者の専門的な知識やノウハウを積極的に取り入れます。
- ・将来的には民間運営も選択肢として持続可能な運営を検討します。

## 第4章 施設整備計画の方向性

---

### 4-1 新しい施設建設の必要性

現在の恵寿荘は、開設以来40年以上にわたり高齢者福祉の一端を担い、サービスの提供に努めてまいりました。しかしながら、現在の施設は老朽化が進むとともに、津波被害への心配や利便性、効率性等に課題があります。また、日高徳洲会病院の町内への移転決定と国保診療所の閉所方針が示され、施設運営にとって重大な変化に対応する必要があります。

これまで同様に住み慣れた地域で、穏やかな生活ができるよう施設整備を検討します。

### 4-2 恵寿荘のあり方について

#### (1)入所定員

近年入所待機者は減少傾向にありますが、今後の高齢者人口の推移から現状維持の入所50床、短期入所10床とします。

#### (2)居室形態

厚生労働省の基準では原則「ユニット型個室」としているが、地域の実情にあわせて「多床室」も認められているため、安価な費用で入居でき、低所得者のニーズが高い「多床室」を基本とし、感染症対策やプライバシーに考慮した居室構成を検討します。

### 4-3 デイサービスセンターのあり方について

#### (1)利用定員

現状維持の18名としますが、今後の高齢者人口の推移や近隣町の動向を見極めながら、将来的な定員増にも対応できる面積とします。

#### (2)設置場所

恵寿荘と一体又は併設とします。

#### (3)施設設備の共有

給食業務は恵寿荘と一体で行います。

入浴施設は恵寿荘と共にします。

## 4-4 改築候補地の検討

移転改築の候補地は、津波防災の観点から高台とし、医療連携の観点から日高徳洲会病院の隣接地とします。

## 4-5 基本計画の検討

### (1)整備計画の策定

利用者中心の考え方で、時代の要求に応えるユニバーサルデザインやプライバシーへの配慮、感染症対策、防災機能等を備えた施設を整備します。

### (2)施設規模の決定・概算事業費の算定

- ・日高徳洲会病院の整備計画と連携してゾーニングを検討し、施設規模を決定します。
- ・諸室及び施設全体の面積を決定し、概算事業費を算定します。

### (3)財源等の検討

財源として、国庫補助金や起債等を活用し資金計画を策定します。

## 4-6 整備スケジュール

今後のスケジュールは以下の流れとなりますが、日高徳洲会病院の整備計画と並行して行う予定です。なお、昨今の建設業界の事情により遅れる場合があります。

